



'85

9月号

No. 187号

いんか



やった——。

海と温泉のまつりジュースの早飲みゲーム(8月25日)

第4回 しかべ海と温泉のまつり・花火大会

—夜空に映える
花火をたんのう—

●8月24・25日の
二日間で2万人の人出●

—夏の終りをつげる風物詩—



開会式(8月25日)

八月二十四、二十五日に「第四回しかべ海と温泉のまつり」と「花火大会」が行われました。
この「海と温泉のまつり」は、昭和五十七年度から海と温泉のまつり実行委員会(会長 佐々木克三郎町内会連合会長)の主催により行われているもので、今年で四回目となり、当町の自然的条件を生かし、地場産業や観光を幅広く広報し、地域経済の活性化を図る



100人パレード(8月24日)

踊り手は、昨年新調したそろいのゆかたで、鹿部小唄、ソーラン節を踊りながら行進しました。パレードは、大岩から鹿部漁港まで行進し、漁港前から出来洞にバス

ために当町の特産物である海の幸と温泉を積極的に宣伝することを目的として行われました。
一方、花火大会は、町温泉観光協会の主催で行われました。
二十四日は、町内百人パレードでこのまつりの幕をあけました。午後一時三十分には大岩生改センター前に役員関係者及び百人の踊り手が集まり、佐々木会長挨拶のあと花火の合図でパレード隊が出発しました。



パレードには留学生も参加

を浴びていました。
フェスティバルも終りに近づいた頃から空模様がおかしくなり、とうとう大粒の雨が降り、カミナ

で移動し、本別、宮浜、鹿部漁港内の会場まで全町をくまなくパレードしました。
その後、会場では、午後五時三十分から「第三回道南カラオケフェスティバル」が近隣五町からのど自慢が参加して盛大に行われました。
フェスティバルには、国際交流のついでで来町している留学生で台湾(中華民国)の柯恵真さんが特別出演し、「大阪しぐれ」をしつとりと唄い上げ一際大きい拍手を浴びていました。



ステージのショーに見込む観客

りも鳴って、とうとう花火大会は二十五日に順延と決定され、花火を楽しむに集まった人たちは、ガツカリ。帰り仕度をしているうちに雨は止み、星も出るといった天候にふり回された前後祭でした。
二十五日は、鹿部漁港内の会場において午前九時から開会式が行われ、大会長(川村秀次町長)、実行委員長(佐々木克三郎町内会連合会長)の挨拶のあと、関係者によるテープカットが行われ、同時にくす玉が割られ、花火、風船がはなたれ、まつりムードを盛り上げました。



会場内に設けられた特設ステージでは、民謡愛好会による民謡、コロンビアレコード高田友恵ショー、ロックバンドアドバンズの唄、江差追分日本一浪田義幸ショー等が行われました。

会場の各コーナーでは、風船のサービス、カジカ汁のサービス、輪投げ、ビール、ジュースの早飲み等のゲーム等も行われました。また、漁協青年部による「ふれあい水族館」は、大人気で、マンボウ(キナンボ)、黒ソイ、サバ、イワシ、ウニ、ナマコ等生きた魚介類が水そうに入れられて展示され、子供達は直接手でさわったり大よろこびでした。

出店コーナーでは、漁協により町の特産品である昆布、ホタテ等が即売され、特にホタテは買うとその場で炭火で貝ごと焼いて食べられるとあって当町を訪れた人特に人気がありました。

商工会青年部では、牛肉、焼つぶ、生ビール等を販売し、ビール

を片手に焼つぶ、焼ホタテをたべている人が多数目につきました。商工会婦人部は、町内特産品のクラコ、珍味類や焼ソバ、コーヒール等売り、婦連協では、おにぎり、のみ物、バナナ等の販売をしました。

会場を訪れた人たちは、おにぎりを買って、無料のカジカ汁やホタテ焼等でお昼をとっていました。その他に、リハビリ入所者が作った手芸品やミンク小物品の展示販売や、郵便局の記念切手、専売のたばこ、N.T.T.の電話コーナー等の沢山の出店がありました。

特に今回は、町づくりで交流を続けている厚沢部町から「あすの厚沢部を考える会」の青年が、厚沢部名産のスイカ、メロン等の農産物販売の出店参加をし、美味しいスイカ等をPRしながら安価で販売しました。

午後三時からは、このまつりの目玉のイワシの無料サービスが行われ、一五キロ詰のイワシが無料

好評のふれあい水族館



で配布されました。

夜になって午後七時から前日から順延となった観光協会主催の花火大会が行われ、夏の夜空に映えるスターマインや仕かけ、早打ち花火に観客からは大観声が上がっていました。

例年、鹿部の夏は花火大会で終わります。集まった人たちは行く夏を惜しむかのように花火大会を楽しんでいました。



ゲームコーナー 大輪投げ



美味/鹿部産ホタテ炭火焼き



カジカ汁のサービス



多くの出店がありました
リハビリ店
魚協店



イワシの無料配布

昭和六十年 鹿部町成人式

六十一人の成人を祝う

— 義務と責任を果たすと成人の誓い —

昭和六十年鹿部町成人式は、八月十五日午後四時から中央公民館において行われました。

今年の対象者は、男二十八人、女三十三人、計六十一人で、当日は四十八人の成人が出席して行われました。

成人式は、山崎教育委員長の式辞のあと川村町長、佐藤町議会議長の祝辞がありました。川村町長



は、特に「甲子園で行われている高校野球やプロシアのビスマルクの一語を引用し、一生懸命の専ら

について話し、自分で選んだ人生を自分の意志で一生懸命生きてほしい」と話し、新成人もさかんにうなづいていました。

祝辞のあと新成人を代表して政坂勝広くん（出来淵）と高田恵子さん（本別）が、「成人になって、今日まで育成してくれた両親と先生、社会に対し感謝し、①正義と

真実と愛に忠実であり、②憲法に保障された平等のもと、その義務と責任を果たし、③我々の共同体である郷土、国家、社会と民族及び人類の幸福と平和の為に共に助けあい、力を尽くします。」と誓い

あいました。その後、記念品の贈呈をうけ、記念写真の撮影をし、祝賀行事では、成人された人たちの仕事ぶりや勉強風景等をスライドにして上映し、映し出される自分や友人の姿にかん声を上げて見えました。このスライド上映は、今回の成人式から行われたもので、出席者からは大へん好評を得ました。

三人の外国人留学生が滞在了しました。

国際交流のついで二週間

第七回北海道国際交流のついで、当町に三人の外国留学生が八月十七日から九月二日までの二週間滞在しました。

この「国際交流のついで」は、南北海道に住む人たちと、日本では学ぶ留学生が「家族として」「地域社会の一員として」「生涯教育の一環として」共に働き、共に学

びあい、心のふれあいを通して世界の平和に役立てることを目的として昭和五十四年から行われているもので、今年で七回目となりました。

今回は、アメリカのデミニユツ左からマイケル君、陳さん、柯さん



オ・マイケル君（二十八才）が、工藤健一郎さん宅に、中華民国（台湾）の陳珂如さん（二十二才）が能代順一さん宅に、中華民国の

柯恵真さん（二十三才）が能代一郎さん宅にそれぞれ宿泊して、日本人の日常生活や習慣、仕事等について勉強しました。

受け入れ先の家庭では、「良く働き、何でも食べるし、すこい人達でした」と好評でした。更に滞在中には、海と温泉のまつり等もあり、百人バレーには踊り手として参加したり、道南カラオケフェスティバルには特別出演するなど町内の行事にも数多く参加

しました。八月十九日には、来町歓迎会が公民館で行われ、町、教育委員会、受け入れ家庭の方々が参加して和気相々のうちに国際交流を深めました。

道南カラオケフェスティバルで熱唱の柯さん



海難犠牲者のめい福と海難事故の絶滅を誓う。

八月十七日に漁業協同組合主催による海難犠牲者慰霊祭及び魚族供養祭が、供養塔前で行われました。

慰霊祭は、漁協主催により毎年行われているもので、今年で十九回目となり、佐藤漁協組合長をはじめ関係者や川村町長、佐藤町議会議長等多数参列して、行われました。

海難による犠牲者は、昨年の慰霊祭後二人の方が亡くなり、一〇三人となり、この一〇三柱の在天の霊のめい福と、海難事故の絶滅を誓い、しめやかに取り行われました。



秋の全国交通安全運動

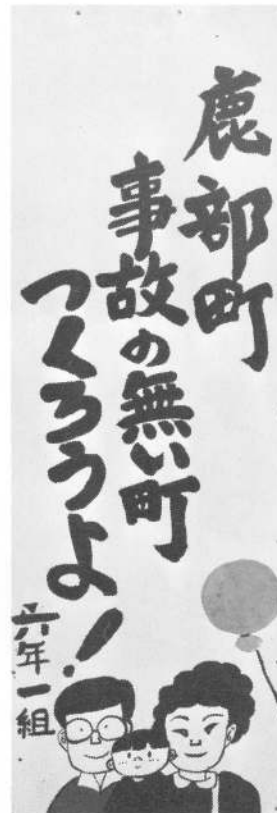
9月21日(土)～30日(月)まで10日間!!

【運動の重点目標】

- シートベルトの正しい着用の徹底
- 若年運転者の交通事故防止
- 歩行者および自転車利用者の交通事故防止



運転者も同乗者も
車に乗ったら
必ずシートベルト



●ちびっ子・園児・児童のきみ達！

とび出しは、ぼくも車もどっきんこだ……

道路を横断する時は左右の確認を

——お父さん、お母さん、町内会の皆さん

危険な子供を見かけたら声をかけてやりましょう——

●部活動で遅くなる中学生諸君！

ライトのつかない、つけない自転車は事故のもとだ……

●「青春」真只中の若者達

カッコいい車でスピードを出したがる君、

走る青春に危険はないか？

——事故を起こしてからでは遅すぎる。

心にガッチリシートベルト！——

●安全運転に徹しよう、ドライバーの皆さん

チョットした心のスキが事故を生みます。

スピードの出し過ぎ、無理な追越し、飲酒運転は絶対やめましょう。

思いやりの安全運転に事故はない。



国勢調査にご協力を

10月1日全国いっせいに行われます

今回調査の対象は約一億二千万人と見込まれています

来る十月一日には、国勢調査が全国でいっせいに行われます。国勢調査は大正九年に第一回の調査が実施されて以来、五年ごとに行われ今回は十四回目になります。

九月下旬から国勢調査員がお伺いします

調査票の記入のお願いのために、国勢調査員が九月下旬から皆様の自宅にお伺いします。その際に調査票とともに記入方法

調査票はマークシート方式になっています

調査票は、マークシート方式といって調査票に印刷された二ミリ×四ミリの枠(□)内に黒鉛筆で○のように横線を太く、濃く記入していただくようになっております。記入方法や記入に当たつての注意を「国勢調査についてのお願い」に示してありますので調査票を記入する前によくお読みください。また、国勢調査についての疑問、お問い合わせなどについては、調査員または市区町村役場等におたずねください。



ありのままを記入してください

国勢調査の調査票は統計を作る目的以外に使用することは決してありません。また、調査員をはじめ調査関係者は、統計法という法律によって調査票の内容

国勢調査から得られる統計は行政施策の重要な資料となります

国勢調査によって、わが国全体の人口が正確に把握されるほか、都道府県や市区町村ごとの人口、あるいは男女別、年齢別、産業別などの人口構成も明らかになります。さらに、急ピッチで進行するわが国の高齢化社会の実態、母子世帯、昼間の人口および世帯の状況の把握などにも重点が置かれます。つまり、現在わが国が抱えているさまざまな問題を的確にとらえることができます。そのため、調査の



お知らせ



「暮らしの相談所」
を開設します。

税金、社会福祉、道路、その他役所に対する苦情、要望、意見等の相談に応じる「暮らしの相談所」を開設しますのでどうぞお気軽においで下さい。

日時 十月八日(火)
場所 午前十時～午後三時
鹿部中央公民館
場所 鹿部中央公民館
相談員 古村敏男(行政相談員)

「巡回無料法律相談所」
を開設します。

函館弁護士会、法律扶助協会函館支部共催で弁護士による「巡回無料法律相談」を行いますので気軽においで下さい。

日時 十月八日(火)
午後一時～午後三時
場所 鹿部中央公民館
相談者 弁護士

「人権・心配ごと相談所」
を開設します。

函館地方事務局、函館人権擁護委員協議会では、人権擁護活動の一環として次のとおり「人権・心配ごと相談所」を開設しますので土地、家屋の貸借、親子、夫婦、金銭、登記、近隣のいざこざ等身近な法律問題や人権問題等心配ごとのある方はお気軽にご相談下さい。相談に応じます。相談内容については一切秘密が守られ、無料ですのでお気軽にご利用下さい。

日時 十月八日(火)

午前十時～午後三時
場所 鹿部中央公民館
相談者 弁護士、法務局職員
当町人権擁護委員

*鹿部町人権擁護委員
立部誠一(字鹿部)
七二二五〇
川村太一(字本別)
七二二三九

尚、人権擁護委員の自宅ではいつでも相談に応じます。



町民交通傷害保険

他人ごとでない交通事故



交通事故の補償は、住民の総力で—という声で、町では町民交通傷害保険を実施していますが、九月は更新月となっています。

次の要領で申し込み下さい。

○申込期限 九月末日(その後も随時受け付けます。)

○申込先 役場総務課

○申込方法 保険料、印鑑を持参の上総務課窓口へおいで下さい。

○加入資格 町内に住んでいる方。町内へ通学、通勤している方

○保険料 一人一口、年四八〇円(二口まで加入できます)

○保険期間 10月1日から一年間(中途加入した方は加入した日から61年9月末日まで)

○その他 詳しくは、役場総務課へお問い合わせ下さい。(総務課)

必ず自賠責保険に加入しましょう。

無保険バイク追放！

小さなバイクだからと言って、油断は禁物。バイクの起こす人身事故は軽視できません。無保険で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

バイクにも自賠責保険が義務づけられています。無保険で走ると六ヶ月以下の徴役又は五万円以下の罰金、さらに違反点数6点となり、免許処分となります。

バイクには車検制度がないので自賠責保険の継続契約をい忘れがちです。バイクで走るあなた、この際ご自分のバイクの自賠責の確認を。



誰よりもあなたのためです 自賠責

熊が出没する季節です
入山する時はご注意を

—自衛官(男子)採用案内— 〔2等陸・海・空士〕

●資格 61年3月卒業見込みの者

●採用試験

●受付期間 60年9月21日から

●期 日 1回目 10月1日(火)
2回目 10月9日(水)
3回目 10月20日(日)
●試験場 受付時にお知らせします。
●試験科目 (1)筆記試験(国語、数学、社会及び作文)
(2)口述試験
(3)身体検査

躍動する我が青春



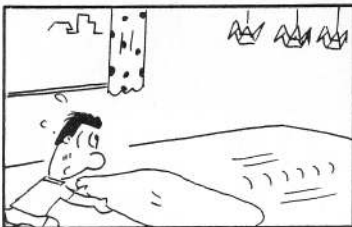
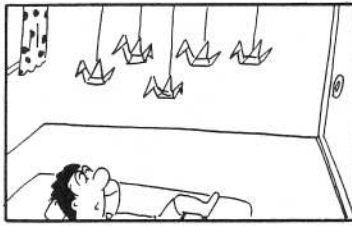
—自衛官募集中—

身分は(特別職)国家公務員です

自衛隊函館地方連絡部(函館市広野町6-25)
募 集 隊 ☎53-6241-2

さわやか君

西村 宗



問
 私には、来年進学予定の中学三年生の子供がいますが、通学費用等の経済的な心配があります。しかし、つい先日、町に奨学資金制度があると聞きましたので、これについておしえて下さい。
 (字宮浜 一町民)



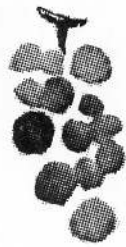
答

ご質問のとおり、鹿部町には奨学資金の貸付制度があります。その目的は、町住民の子弟の内優秀な生徒であって、経済的な理由により修学困難な方に対して、学資の一部を貸付し、有用な人材の育成に資するものです。

○資格は、
 (1)大学、高校、高専及び専修学校の専門課程に在学し、又は進学する者
 (2)学資に乏しい者
 (3)学業成績優秀でその性行善良な者

○貸付額は、
 月額二万円以内

○償還方法等
 貸付金は、無利子で、卒業後一年を据置きし、五年、十年十五年のいづれかの期間を定



め、月賦、半年賦、年賦で償還
 その他詳しいことを知りたい方は、
 教育委員会学校教育課(☎七二三二二四)へお問い合わせ下さい。
 (教委 学校教育課)

**“魔の薬”には
 手を出すな!**

「疲労回復に効く」「強精剤」というのは真ッ赤なウソ。麻薬・覚せい剤は、あなたの人生を台無しにします。

麻薬・覚せい剤撲滅運動
 10月1日～11月30日

戸籍の窓

世帯と人口

(60.8.31現在)
 ()は前月比です

世帯数	1,357世帯 (+2)
男	2,543人 (-10)
女	2,554人 (-3)
計	5,097人 (-13)



おたんじょう
 おめでとう

山本 幸雄	住 所
小笠原 恵子	父
佐藤 久美子	母
伊藤 千依	妹

9月・10月の救急病院

9月22日	南茅部町国保病院	(南茅部町)	☎ (2)3511
9月23日	沢田医	院(鹿部町)	☎ (7)2105
9月29日	砂原町国保病院	(砂原町)	☎01374(8)3131
10月6日	南茅部町国保病院	(南茅部町)	☎ (2)3511
10月10日	砂原町国保病院	(砂原町)	☎ (7)2105
10月13日	南茅部町国保病院	(南茅部町)	☎ (2)3511
10月20日	渡島リハビリテーションセンター	(鹿部町)	☎ (7)3321
10月27日	砂原町国保病院	(砂原町)	☎01374(8)3131

——診療時間は午前9時～午後4時——